

令和8年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第3講座を開催して】

8月20日（金）、美東地域まちづくりセンターにおいて、令和8年度美祢市人権教育ふれあい講座（第3講座）を開催しました。

『高齢者問題』をテーマとして、山口家庭裁判所 主任書記官 森山 泰成（もりやま ひろあき）氏・書記官 寺見 太志（てらみ たいし）氏から、「成年後見制度について」と題して、御講演いただきました。



制度を利用する方に必ず見てもらうというDVDを実際に流していただき、後見人となった人がどのような事務を行うのか、具体的なイメージをもつことができました。受講された方の中には、ご自身の将来や家族のことを思いながら話をきかれた方も多かったようです。

公民館からオンラインで受講された方から、DVDの音声聞き取りづらかったというご意見を多数いただきました。会場の音響設備と、配信機材の接続がうまくいっておらずご迷惑をおかけしました。原因を調査し、改善に努めます。

【受講者の主な感想】

- ・実感がわかず、難しく感じた 初めての参加で勉強になった。美祢市には後見人が何人ぐらいいるのか気になった。
- ・ 制度内容についてよく理解できた。法改正の内容についての研修があるとよい。
- ・ 本人の権利を守るために必要な制度だと改めて感じました。
- ・ 専門の方の説明でとても分かりやすかったです
- ・ 後見制度について知ることができたが、課題もまだまだあると感じた
- ・ このような内容を初めて学ぶことができました。自分だけでなく家族のためにもこのような知識を得ておくことは大切であると感じました。
- ・ まだ先の問題だがこれからの事を考えるきっかけになった
- ・ 聞き慣れない言葉だったので、概要がわかってよかった。
- ・ 家裁の書記官の方なので実際の携わったケースの話など聴くことができるとよりよかったです。
- ・ 後見制度の申請はやはり難しいと思った なかなか難しい内容でしたがDVD視聴を交えての

説明だったのでわかりやすく受けることが出来ました

- 実母が様々な支援を受けているので、自分に何かあれば後見人利用の場合もあるかもしれない。早めに相談機関等で、詳しいこと、具体的なことについて直接きいてみたいと思った。
- 自らの意思表示ができなくなった後も、一人の人としての人権を守る制度があることを学ぶことができました。
- オンラインで受講しました。電波の影響か、なかなか聞き取れないところはありませんでしたが、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 自分の年齢からして、とても切実な問題で、なんとなくではあるが、制度について学ぶことができた。以前、母が話していたことと繋がり、興味深かった。
- DVDの前に後継人の必要性の話があるとよかった。
- 成人後見制度については、名前しか知らなかったもので、詳しい内容が聞けて良かったです。ただ、お年寄りの多い美祢市なので、身近なお年寄りに対して私たちができること、知っておくべきことがわかる内容だと、今後の生活に活かせると思いました
- 後見人になるには、様々な手続きが必要なことがわかった。認知症に多くの人がなる今、理解しておく必要があると思った。
- 将来、両親のことを想像しながら聞きました。日頃では勉強する時間は確保できない内容だったので、聞けて嬉しいです。
- 障害のある姉がいるので、将来的に今回伺ったような話が自分ごとになる可能性もあるのかもしれないと思いました。
- 成年後見制度の概要から申立ての流れ、後見人の具体的な仕事や責任、メリットまで全体像がバランスよく網羅されていて、わかりやすい内容でした。
- 自分にも近い将来関係のある内容で、興味深かったです。
- 人権課題としての高齢者問題について内容を設定していただけるとありがたいです。
- 市民生活上、必要ではあるが、人権教育研修としての深まりは、やや不足していた
- 勤務時間内の講座が、もっと増えることを希望します。
- 音声聞き取りにくかった • DVDの音が聞こえづらい
- DVDの視聴も含まれており、実務の具体的なイメージを持ちやすい内容になっていた。ただ、今回、オンラインでの参加でしたが、DVDも含め、音声の聞き取りが厳しい状況がありました。